

可燃収集を

滞らせないために

不燃及び皮革ごみの
収集一時中止へ

者には個別で周知しまし
た。

8月、台東清掃事務所
で新型コロナウイルス感染症
の陽性者が相次いで確認さ
れました。職員全員のPCR
検査を実施し、陽性者及
び濃厚接触者の人数を検討
した結果、通常業務を断念
せざるを得ない決断に至り
ました。

人員配置と感染予防

今回の感染は本所に限ら
れ、分室職員は全員陰性で
あった為、可燃収集の対応
は本所の可燃エリアの約半
分を分室が行いました。本
所、分室間の応援も当面の
間行わないこととし、連絡
は電話やメールで行い、必
要な人員は週休解除ととも
に、技能長現場配置も行い
ながら確保しました。

感染予防対策としては、
出勤者全員のPCR検査実
施(本所勤務職員は計2回)、
ワクチンの職域接種の拡
充、環境整備として扇風機
やアクリル板の設置、アル
コール除菌液の増設などを
行いました。また、保健所
及び区のコロナ対策室職員
による立ち入り検査や指導
も数回行われています。



▲休憩室全体も換気による対策

感染の恐れと不安

感染の恐れや不安を抱き
ながらの作業は精神的な負
担が大きかったのも事実で
す。「職場閉鎖をした方が
良かったのでは」との声も
ありました。この様な不
測、かつ非常事態には、作
業中止の判断も視野に入れ
る旨を清掃リサイクル課に
申し入れをしました。今回、
支部としての判断・決定は、
ごく限られた役員によって
受けざるを得ませんでした。
そして、直営だからこそ
乗り越えられたと思ってい
ます。

感染者数は減っている様
ですが、またいつ次の「波」
がやって来るかわかりませ
ん。その時に備えて他支部
にとっても参考になること
は幸いです。

ともにがんばりましょう！
(台東区担当中執
鈴木 信生)

いま 清掃事業は・・・ 台東区



▲ビニールとアクリル板で感染対策

新しい仲間と組織強化に つながる取組を

2021年度新入組合員歓迎学習会



▲熱心に聞き入る新しい仲間たち

10月15日(金)日本教育
会館8階会議室にて、20
21年度採用の新入組合員
歓迎学習会が執り行われま
した。今年度採用された11
区と清掃一組52名の内、41
名の仲間が参加しました。
例年では、4月に開催して
いる取組みですが、度重な
る緊急事態宣言の影響によ
り、このタイミングでの開
催となりました。

冒頭、江森委員長のあい
さつの後、わたくし高野が
『労働組合の役割と存在意
義について』の講演を行
いました。新入組合員向け、
労働組合の成り立ちや青年
部の紹介を通し、これから
共に運動を進めていく意思
統一を図ってきました。

来年こそは学習会だけで
なく、お酒を入れながら「交
流会」の開催もできればと
思っています。
(本部青年部長
高野 飛鳥)



▲本部青年部執行委員の面々



▲会場とWEBによる集会の様子

より「久しぶりに対面
での集会で、多くの仲
間と顔を合わせながら
意思統一を図り、現業
統一闘争に向け共に頑
張っていきましょう」
とあいさつ後、染都本
部委員長より激励のあ
いさつを受けました。
講演では8月の現評
総会より新たに選任さ
れた吉村現業局長(大
阪市役)より「コロナ禍にお
いて地域公共サービスの必
要性が明らかになった、特
に我々現業職は機動力があ
り、迅速な災害対応に適し
ている。労働2権労働3法
をフル活用し、地域住民の
安全・安心のために取組み
を強化しよう」と話されま
した。方針提起の後清掃を
含む3部門から力強い決意
表明があり、篠崎都本部副
委員長による団結頑張ろう
で集会が締められました。
(墨田区担当中執
長妻 芳典)



▲萩原常任による決意表明

コロナ禍において現業の必要性を再認識

2021都本部現評(第二次闘争) 総決起集会

10月12日(火)中野サン
プラザにおいて、2021
次闘争)総決起集会が開催
され、21単組71名(W
EB参加36名含む)の
仲間が結集しました。

吉野議長(青梅市職)
より「久しぶりに対面
での集会で、多くの仲
間と顔を合わせながら
意思統一を図り、現業
統一闘争に向け共に頑
張っていきましょう」
とあいさつ後、染都本
部委員長より激励のあ
いさつを受けました。
講演では8月の現評
総会より新たに選任さ
れた吉村現業局長(大
阪市役)より「コロナ禍にお
いて地域公共サービスの必
要性が明らかになった、特
に我々現業職は機動力があ
り、迅速な災害対応に適し
ている。労働2権労働3法
をフル活用し、地域住民の
安全・安心のために取組み
を強化しよう」と話されま
した。方針提起の後清掃を
含む3部門から力強い決意
表明があり、篠崎都本部副
委員長による団結頑張ろう
で集会が締められました。
(墨田区担当中執
長妻 芳典)

▼現在の杉並支部にお
ける課題は、定年延長
・人員の不補充が喫緊
の課題だと思っていま
す。

▼定年延長により、た
だでさえ高齢化が進む
支部内での業務内容が
今のままでいいの
か？賃金が下がる可能
性のある、60歳以降の
業務を軽減し、無理の
ない業務を検討してい
かなければならない。
そして、定年前の職員
も高齢化が進む中、業
務量の増加・体への負
担も多くなっていま
す。

▼本来であれば、毎年
新規採用がなければな
らないはずが、退職者
不補充・定員削減など
により新規採用が無
い。それにより、業務
が職員同士ではなく毎
回違う派遣職員や会計
年度任用職員との作業
を余儀なくされ、業務
と精神的な負担が増え
ているのが現状です。

▼この現状を打破し、
全組合員の生活・健康
を守る為の組合活動を
しなければならな
いと考えています。
(杉並区担当中執
松丸 洋平)

